

岐阜北週報

1月 ロータリー理解推進月間

<input type="checkbox"/> 題字	国井省二	<input type="checkbox"/> 会長	国井 省二	
<input type="checkbox"/> 例会	毎週水曜	<input type="checkbox"/> 副会長	服部洋一郎	2009-2010
<input type="checkbox"/> 会場	岐阜都ホテル	<input type="checkbox"/> 幹事	波多野光裕	No.1337
		会報委員長	片桐順一郎	10.1.20 発行

前回の記録

第 1336 回例会 1/13 (水)
卓話「献血の現状」
岐阜県赤十字血液センター
担当 陰田・原尾

本日の予定

第 1337 回例会 1/20 (水)
臨時総会 (補正予算承認)
担当 会長・幹事

次回の予定

第 1338 回例会 1/27 (水)
卓話「私が見たエジプト」
卓話者 片桐会員
担当 片桐・服部

会長挨拶 【国井 省二 会長】

会員の皆様、こんにちは。

正月休みの後、成人の日を含めて3連休となり、なまった体に戻ってきた時に、また体がなまってしまうそんな感じです。

会員の皆様におかれましては、連日の新年会等でお疲れかと思えます。

当クラブにおいては、次週、補正予算承認の総会、また森本ガバナー補佐におかれましては、予定者としての行事が入ってきたかと思えます。お疲れ様です。

今日は、成人の日の由来について調べてきたことを発表します。

日本における今日の形態の成人式は、終戦間もない1946年11月22日、埼玉県北足立郡蕨町(現蕨市)において実施された「青年祭」がルーツとなっています。敗戦により虚脱の状態にあった当時、時代を担う青年たちに明るい希望を持たせ励ますため、当時の埼玉県蕨町青年団長、高橋庄次郎が主催者となり青年祭を企画、会場となった蕨第一国民学校(現蕨市立蕨北小学校)の校庭にテントを張り、青年祭のプログラムとして行われました。この「成年式」が全国に広まり現在の成人式となりました。蕨市では現在も「成年式」と呼ばれており、1979年の成人の日には市制施行20周年、成人の日制定30周年を記念して同市内の蕨城址公園に「成年式発祥の地」の記念碑が同市によって建立されました。本日も宜しくお願い致します。

出席報告

会員数：34名
出席数：24/34
出席率：70.58%
欠席者：10名(出席免除6名 88.24%)
岐阜県赤十字血液センター所長 鬼束惇義
竹中祐紀

ニコニコBOX(敬称略)

陰田正男：

本日の卓話担当です。血液センター鬼束惇義所長をお迎えしました。先生には献血の現状についてお話をよろしく願います。

原尾勝：

本日卓話です。陰田さん宜しく願います。

若山和正：

本年も宜しく。

河村訓陸：

今日も元気で。

卓話

演題「献血の現状」

岐阜県赤十字血液センター
所長 鬼束惇義・竹中祐紀

- ・ロータリークラブの皆様には、日頃からお世話になっています。1336回と伝統ある会にお招き頂き有難うございます。
- ・以前、献血は売血が行われて、売血で生計が行われていた。
- ・余血といって、皆の血液を預ける血液銀行というのがあった。

卓話続き

- ・ 1975年にWHOが勧告
医療に使う血液は、無料でまかなう。
自国の血液は、自分の国でまかなう。
- ・ 日本はまだ血液製剤を外国から輸入している。
- ・ 日本国内でも各都道府県が献血をまかなう。
- ・ 血液新法ができて
安全な血液製剤の安定供給の法律ができ、国の役目、地方公共団体の役目を明確化した。
- ・ 1986年までは日本では200ccしか採血できなかったが、今では400cc採血できるようになった。
- ・ 欧米諸国では、500ccほど採血できる国が有る。
- ・ 10代、20代の採血者数が減っている。
- ・ 今後5年間で、安定時な供給が出来る企業数を増やす。
- ・ 学生ボランティア、声掛け運動、キャンペーン、20才献血キャンペーン色々行っている。
- ・ 岐阜県の自給自足が出来なく、愛知県から頂いてしかられています。
- ・ ぜひとも岐阜県の血液を必要としている人達にご協力下さい。

次回例会のご案内
第1338回 1月27日(水)
卓話「私が見たエジプト」
卓話者 片桐会員
担当 片桐・服部

会報・広報委員会 小泉宣昭

